

# ジャングルジム通信

## 久しぶりのジャングルジム通信です

昨年7月に24号を出したっきり、すっかりジャングルジム通信作りができなくなってしまっていました。

これからは更新の頻度をあげていって、なんとか今年中に33号くらいまで出せるようにしていきたいと思います。

このジャングルジム通信は新所沢駅の看板と塾入り口にのみ設置していて、誰でも手に入れることができる一般的な情報から一步踏み込んだような情報を書いていきたいと思っておりますので、今後も是非新しい色のジャングルジム通信が入っていたら手に取ってみてください。

## 令和6年度中学入試が終了しました

ジャングルジム7期生が挑んだ令和6年度の中学入試が終了しました。インフルエンザが流行っていた中での入試ということで、心配もありましたが体調不良等なく無事に受験を終えることができたことホッとしております。

全員が第一志望合格という目標は果たせなかったものの、みんなにとっていい受験だったのではないかと考えています。ジャングルジムとして初めて合格をいただく学校もたくさんありました。ジャングルジム7期生の皆さん、本当によく頑張りました。

## 2024年度 ジャングルジム第7期生合格校一覧

開智所沢中等教育学校	5名	西武台新座中学校	1名
開智中学校	4名	聖望学園中学校	1名
学習院中等科	1名	中央大学附属中学校	1名
暁星中学校	1名	東京電機大学中学校	2名
栄東中学校	1名	桐朋中学校	1名
秀明中学校	1名	日本大学豊山女子中学校	1名
淑徳与野中学校	2名	富士見中学校	1名
城西川越中学校	2名	星野学園中学校	2名
城北埼玉中学校(特待)	1名	明治学院中学校	1名
成蹊中学校	1名	武蔵野大学中学校	1名
成城中学校	1名	立教女学院中学校	1名
西武学園文理中学校	5名	<b>卒業生12名 合格総数38名</b>	

☆他塾等の併用は一切ありません 全てが最後までジャングルジムで中学受験をした生徒の合格校となっています。

※城西川越は特選合格を含む ※西武文理は選抜合格・特待合格を含む ※星野学園は理数選抜クラス合格を含む

難関校の合格というところに注目してみると

4期生→早大学院・早稲田・本郷・桐朋・法政大学・立教新座など 5期生→武蔵・吉祥女子・桐朋・立教新座など

6期生→早稲田実業・立教新座・明大中野など といった過去の先輩たちの合格校と比較して

7期生→立教女学院・中大附属・桐朋・暁星・学習院などと全く遜色ない結果となっています。

私どもは難関校の合格が高い価値を持っていて、その逆もいえるという考え方は持ち合わせていないのですが、小さい塾だから難関校狙いの受験生に対する指導ノウハウを持っていないのではないかと問われたとき、自信を持って難関校にも対応できると答えることができるとしております。

# 開智所沢中等教育学校初の中学入試はどうだったのか～その1～

今年春開校予定の開智所沢中等教育学校の初の入学試験が1月10日より行われました。まだ校舎ができていないのでさいたまスーパーアリーナや所沢さくらタウンなどの会場で入学試験が行われました。そこでの結果を振り返って、今後所沢市の中学入試がどのような流れとなっていくのかを分析してみたいと思います。

名称	第1回入試	特待 A 入試	特待 B 入試	算数特待入試	第2回入試	日本橋併願入試
試験日時	1月10日(水) 午前	1月11日(木) 午前	1月12日(金) 午前	1月12日(金) 午後	1月15日(月) 午前	2月4日(日) 午前
募集定員	100名	30名	45名	15名	45名	5名

こちらが今年行われた開智所沢の試験の日程です。岩槻にある開智中学校の入試問題と同じものを用いることで合格判定も1回の入試で2校分受けることができました。今年初めてジャングルジムからも開智中学校の合格が出たのもこの制度によるものです。

第1回入試は男女2154名の受験生のうち1628名（各種特待の人数を含む）が合格となりました。倍率は約1.3倍となり合格点は岩槻の方が193点だったのに対し、所沢は167点とかなり低いラインで合格としたと意外に思いました。特待入試は今回は考えないこととします。特待入試は特待合格を得るほど学力の高い受験生の多くが県内の学校を辞退して都内の志望校に進学するケースが多く、学校側も問題を難しくして合格者を絞ることで偏差値を高く維持しておくという狙いが含まれている入試となっています。

第2回入試は第1回入試を受験した受験生に一律30点の加点があるという制度の入試です。

受験生は男女904名でそのうち526名の多くが第1回試験で不合格となった受験生だと考えられます。30点の加点があるのでほとんどの第1回不合格者が第2回試験に参加したものと考えられます。気になるのは904名と526名の差となる378名の受験生がどこから来たのかということとなります。考えられるのは第1回入試に合格した者の中で特待合格を狙いに来る層、受験料が何回受けても同じなので、練習という意味も込めて参加したのではないかと思われます。または、加点なしでも合格が見込める学力層の者も考えられます。同じように2回目に30点の加点をするという学校で栄東がありますが、例えば1月10日に栄東や大宮開成を受けて来た層が30点のハンデこそあっても合格を取りに来たということでしょうか。1月10日に安全校を受けておいて15日にチャレンジというのはあまり考えにくいです。

結果は904名の受験生のうち653名（各種特待の人数を含む）が合格となり倍率は約1.4倍という結果でした。

合格者の653名の中に、先ほどの378名が全て含まれていると仮定した場合、1回目も2回目も不合格となった受験生が275名いたことになります。

ポイントとなるのは、開智所沢募集人数が240名であるということと、高校入試をしない学校だということとです。

ここまで合格者を出したのは、他の学校に合格した場合、多くの受験生が辞退するだろうという予測に基づくものかとは思いますが（ジャングルジムも5名の合格者のうち進学予定者はありません）ただ、これでちょうど240名に近い人数が入学手続きをしているのかといったところはこちらでもわかりませんが、第1回新入生登校日が先日2月11日にあったということから、おそらく繰り上げ合格などをたくさん出すことなく無事に新入生240名というものが確定したように思います。ジャングルジムは所沢市にある唯一の本部を持たない中学受験専門塾として、地元開智所沢について一番多くの情報を持っている塾となれるよう、開智所沢の先生方と緊密にコミュニケーションを取っていきながら取材を進めていきたいと思っております。もしジャングルジム通信をご覧の方で開智所沢のことが知りたい！という方はお気軽にお問い合わせください。



ジャングルジム通信へのご意見やご感想、このような記事を書いてほしいというご要望等ありましたらお気軽にLINEを送ってください。



中学受験専門塾ジャングルジムのホームページはこちら